



日本測量協会の教育・研修等の各種事業はおおむね順調で、20年ほど前に8000人程度であった正会員数も徐々に増加し、昨年1万1000人を超えました。会員の皆さま、関係の皆さまに厚く御礼を申し上げます。当協会の教育・研修事業は多岐にわたりますが、その中において資格制

度とCPD（継続教育）制度の運営は、当協会ならではの活動で、社会的にも大きな意義を持つ活動です。新年にあたり、ここでは資格制度について簡単にご紹介し、今後の抱負を述べた

測量士の活躍の場広げる

日本測量協会

会長 清水 英範

と思います。

当協会は地理空間情報専門技術者（以後、専門技術者）と空間情報総括監理技術者（以後、監理技術者）という二つの資格を認定し

ることを要件としています。

このように当協会の資格制度は、測量士のキャリア形成（特にキャリアアップ）を強く意識した制度です。測量士の活躍の場を広げるべく、CPD制度とも連携し、公正かつ適切に運営してまいります。

当協会は、これからも資格制度やCPD制度等の運営に主体的な役割を果たし、測量・地理空間情報技術者の技術力の維持・向上と社会的な活躍を支援していきます。